

じんだい

第69号

2022.10.31 (月)

発行：医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院

調布市深大寺北町4-17-1 ☎042-482-9151
URL www.kichijoji-hospital.com



基本理念

患者様やご家族の側に立った医療
患者様の社会復帰を目指す医療
全職員相互の力を発揮できる医療



紅葉

Contents

スタッフの同期会開催！	1
私の趣味紹介	3
本能寺からお玉ヶ池へ ～その⑬～	6
2022年9月の病棟イベント	9
当院のおすすめメニュー	12
巻頭写真募集	13
外来担当表 / 当院略図 / 編集後記	15

コロナ禍となり3年目。感染リスクを考えると、人が集い行くことほぼすべてに対し躊躇してしまいます。医療従事者であればなおさらですので、コロナ禍に入職したスタッフは、夏の納涼会や年末の忘年会はおろか、自分たちの歓迎会さえ経験していません。

企画運営会議Cチームは、病院のビジョンや目標を達成するために、職員への病院情報の共有や、職員がやりがいを持って働き続けるためにできることは何かを考え実行するチームです。入職後、職場にスムーズに溶け込むための大切な時期に親睦会というものを全く経験していないという何とも寂しいこの状況をなんとかしたい、新人スタッフに向けて何かできないかとCチームは頭をひねりました。慣れない職場で孤軍奮闘する新人スタッフの皆さん...もしかして、別の部署で同じように奮闘している仲間のことさえ全く知らないのでは...?というわけで、今年度入職スタッフの「同期会」を6月に病院の会議室で(!)開催しました。

会話のきっかけ作りに“吉祥寺病院の良いところ”をテーマに話しを進めてもらいましたが、開始まもなく趣味や好きな事、興味ある事などに話しは拡大。飲食のからまない真面目な同期会ではあ

りましたが、大いに盛り上がりました。「話すきっかけがなかったのでありがたかった」「ふだん仕事に関係のない話ができないのでとても楽しかったです!」「他部署の方と交流することがあまりないので、同期の方と話せて良かったです」などの感想が聞かれ好評でした。

続いて、8月に令和2年度同期会、10月には令和3年度同期会も開催しました。自分の部署について理解が進んでいる2年目のスタッフからは、「他の部署(病棟)の様子や考えていることを聞く機会が得られて良かった」「病棟によって全然違うのだと感じた」との感想が聞かれました。さすがに、3年目のスタッフともなると先輩スタッフとして精力的に活躍され既に顔見知りな方も多く、今さらな感じもありましたが、「ふだん話せない人や同期だと知らなかった人とも話せて良かった」「時間を忘れて話しに夢中になれた」と、経験年数に関わらず、あまり話す機会がない人と仕事を離れて会話をする機会を楽しんでもらえたようでした。同期の仲間を改めて知り、部署を超えたつながりを作ることに一役買ったのではないかと思います。今後は、同期の仲間でお互いに声をかけ合ってそういう機会を作り親睦を深めていってほしいと思います。



● 令和2年度(3年目)



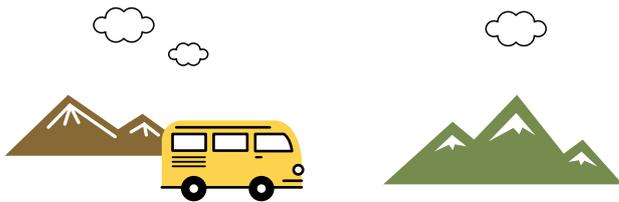
● 令和3年度(2年目)



● 令和4年度(1年目)



私の趣味紹介



PSW AS

高知県 室戸岬付近の夕陽の写真です。

コロナ禍で以前ほど旅行に行かなくなり、写真を撮る機会も減っていましたが、過日初めて四国に行きました。ペーパードライバーながら四国4県を車で巡りました。

ちょっとしたハプニングに見舞われ、車のガソリン切れ寸前で山奥に野宿かと頭をよぎったなか偶然にもきれいな夕日に出会いとても救われました。写真で自然な夕日の色合いを残すのがとても難しく、これからもいろんな写真に挑戦したいと思います。

B1 病棟 YH

中野区沼袋にある百観音明治寺の紅葉の写真です。昔近くに住んでいたときにスマホで撮りました。都内で街中にこんなにきれいな紅葉があるんだと関心しました。12月頭頃が見頃みたいですね。



Happy!



PSW FM

載せて頂いた写真は、フィルムカメラで撮影しました。淡く優しい色味とぼつんと映る女の子がみどころです！

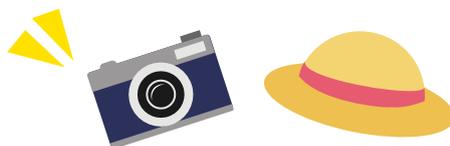
ひよんなきっかけから写真の魅力に惹かれ、被写体をしたり時々カメラを触ったりしています。大学時代には先輩の卒業袴の写真を撮らせて頂いたり、最近は季節の花が咲くごとに撮影しに行ったりしています。



B3病棟 TY

Nikon FG-20

写真に興味を持ったのはディズニーランドでキャラクターを撮るために買った一眼レフがきっかけでした。ミラーレス、デジタル一眼…と色々なカメラを使ってきましたが、今は祖父が使用していたフィルムカメラをよく使っています。祖父のフィルムカメラはシャッタースピード、ISO、ピントと全て手動で合わせます。そして撮った写真は現像しなければ見ることはできません。その古くて手動なところに惹かれ、今では私が生まれるより前に生産されたこのカメラの虜です。





薬剤科 NS

写真はスマートフォンでしか…、趣味「写真」とは言いがたいですが、自己紹介を兼ねて寄稿します。先日、三重県伊勢市から引っ越ししてきました。その際、写真の整理をしていると荷造りが進まなかったことを思い出します。普段、昔の写真を見返す事は多くありませんが、楽しい時間を思い出す良い機会でした。これからも写真を撮ることを心がけたいと思います。伊勢神宮で撮った写真です。顔を覚えていただけたら幸いです。



筆名：朱暁

東日本大震災から一年が経った岩手県陸前高田市。津波に高台の裾野を削がれた普門寺には、真新しい位牌が無数に並べられていた。それらすべてが同じ没年月日を示している。《平成二十三年三月十一日》。街ごと、生活ごと、歴史ごと、人々を津波にのまれた巨大な喪失感が、物静かな住職の肉筆から滲み出し、静謐な空間に満ちていた。その痛みに向かってシャッターを切る罪の意識と情けなさに、一眼レフを持つ私は煩悶した。降りよう。私は報道に向いていない。この画は、職業カメラを置くのに十分な理由となった。今や悼み祈るばかりの生き残りとして、ただ身一つで前を向く。



本能寺からお玉ヶ池へ ～その⑬～

医局 西岡 暁

むくどりや 野川 草の実
うち被り (及川貞)



医局 西岡 暁

あちらこちらで^{むくどり}驚鳥の群れ飛ぶ声
が響く季節になりました。

この句の「野川」のことはありませんが、当院の少し西には野川公園があって、その西に多磨霊園があります。多磨霊園には当院初代院長・塚本金助先生の墓所がありますし、[12]の与謝野晶子と[13]の岡本かの子とが眠る処です。

多磨霊園の西にあるのが斎藤病院(@府中市浅間町)です。精神科病院として当院よりも少し後輩(当院の3年後=1957年開院)の斎藤病院ですが、今の院長・斎藤章二先生は、斎藤茂吉のお孫さんです。実は斎藤病院は、章二先生のお母様の御実家の「宇田病院」(1939年開院)を発展的に継承したものですし、何より斎藤茂吉が院長を務めた「青山脳病院」(1907年開院)が源流でもありますから、本当は当院の先輩病院と言った方が良いかも知れません。青山脳病院は、茂吉の次男・北杜夫(本名:斎藤宗吉。ご自身躁鬱病をカミングアウトされています。)が小説「^{にれけ}楡家の人々」で「帝国脳病院」として描いています。

うつしみの 狂へるひとの哀しさを かへりみも
せぬ世の人醒めよ もろびと覚めよ (斎藤茂吉)

先輩病院と言え、当院と同じ市内の青木病院(@調布市上石原3丁目)を忘れてはいけません。青木病院は1962年の開院ですが、1945年開院の診療所「青木神経科」が発展した病院だからです。その青木神経科(と青木病院)の開院時の院長・青木義作は、斎藤茂吉の義従弟(養母の弟の長男)にあたる人で、茂吉が院長だった時代の青山脳病院の副院長でした。青木病院の理事長・青木浩子先生は、青木義作のお孫さんです。

[15] 愛宕山

前回までに、森鷗外の「雁」の玉を含めて3人の「玉」という名の女性についてお話をしました。「本能

寺からお玉ヶ池へ」の流れからは少し外れることになりますが、実はその後の「本能寺から本郷へ」の流れに関わる(そのお話は、来年稿を改めます。)玉という名の女性も一人います。お玉の局(=桂昌院; 1627~1705)です。

お玉の局は、^{みつひら あおさぶらい}関白・二条光平の青侍だった本庄宗正の長女ですが、本当は京の都の町娘(八百屋か畳屋の娘)だったのが、母が(玉を連れ子に)本庄宗正の後妻になったので本庄家の娘として12歳で江戸城大奥に上がったと言われています。後に將軍(徳川綱吉)の生母にまで上り詰めたことから「玉の輿」の語源になったと噂されました。「青侍」とは、^{くげ}公家(本庄宗正の場合は、関白・二条家)の家政部門に勤務する武士のことです。お玉の局の父の主君・二条光平は、大河ドラマ「麒麟がくる」に登場した二条晴良の系図上の^{ひまご}曾孫ですが、光平の父・康道は(晴良の孫ではなく)九条幸家の長男です。康道の養父・^{あきざね}昭美は秀吉に関白の座を譲った(ことで30年もの間関白の座を離れましたが、秀吉の死後17年で見事(?)再登板しました。)人です。光平の「光」の字は、春日局の息子・家光から戴いたものです(からその元は、明智光秀?)。町娘だった本庄玉を見初めて我が子家光の側室・お玉の局にしたのは、春日局だとされます。こうして「玉の輿」に乗った本庄玉は、江戸城大奥御中臈・お玉の局になり、お玉の局は、5代將軍・徳川綱吉(1646~1709)の生母になりました。家光の母が春日局であれば、綱吉は(明智光秀の重臣で「本能寺の変」の主要メンバー=)斎藤利三の曾孫になります。

前回述べたように、春日局の墓所は、湯島の麟祥院にあります。そこから江戸城を越えて南へ6km余り、増上寺(@港区芝公園4丁目)にお玉の局の墓所があります。そして墓所とは別に、遙か遠く山城国西山の善峯寺(@京都市西京区大原野小塩町)と^{よしみねでら}金蔵寺(@京都市西京区大原野石作町)に(遺髪を納めた)「桂昌院廟」があります。何故なら、お玉の局は幼少の^{おほらのおしおちよう}砌この両寺によく参っていて、長じて大奥に上がった後、荒廃していた両寺を再興したからだそうです。両寺には(お玉の局のお手植えと伝わる)「桂昌院桜」が、善峯寺にはお玉の局が寄進した「厄除けの鐘」が、今も残っています。余談です

が、私の苗字「西岡」は、この両寺のある京の西山の東側、桂川、淀川との間の地域＝西岡から戴いています。西岡には、ガラシヤが興入れした勝竜寺城や明智家を滅亡に導いた「山崎の戦」の古戦場があるのです。

あたごやま いる日の如くあかあかともやし尽くさん のこれる命 (西田幾多郎)

西田幾多郎は、(哲学の)京都学派(精神病理学の京都学派も西田の影響を強く受けています。)なので、この歌の「あたごやま」は、勿論京都の愛宕山です。愛宕山と言えば、「本能寺の変」の一週間前、明智光秀が愛宕山白雲寺(現存しません。@京都市右京区嵯峨愛宕町)の「勝軍地蔵」に詣でた処です。光秀は、翌日連歌「愛宕百韻」を巻き、その発句に土岐明智家の苦境を詠みました。

時は今 あめが下なる 五月かな

明智家の未来を拓くべく起こした「本能寺の変」ですが、皮肉にもその結果明智家は滅亡の憂き目を見ることになってしまいました。愛宕山の勝軍地蔵への祈願が足りなかったのでしょうか？

明智家滅亡から10年余り、光秀の孫・細川忠利は、少年期の4年間を愛宕山福寿院で過ごし、学門を修めています。

愛宕山白雲寺は、明治維新後の「廃仏毀釈」に遭って破壊され、本尊の勝軍地蔵は金蔵寺に移され

て金蔵寺「愛宕権現堂」に収められました。金蔵寺は、先ほど述べたように「本能寺の変」の主要メンバー・斎藤利三の曾孫(と考えられる)徳川綱吉の母・お玉の局(=桂昌院)所縁の古刹です。

話は変わって、汽笛一声 新橋を はや我汽車は 離れたり… と始まるのが「鉄道唱歌」ですが、大昔(1900年!)の歌なので、今ではご存知の方も少なくなりました。何せ、新橋を「汽車」が走っていたこと自体、百年近い大昔のことなのです。この歌は、続けて 愛宕の山に 入りのこる 月を旅路の友として と、東京の愛宕山を詠っています。(ご存知の方もおられるでしょうが、江戸=)東京にも勝軍地蔵を祀った愛宕山があるのです。ただ、「本能寺の変」の頃には江戸に愛宕山は(ありましたが、愛宕山と言う名では)まだありませんでした。

東京の愛宕山の勝軍地蔵も京の愛宕山のものと同じく(?)、少々「本能寺の変」と関わりがあります。

「本能寺の変」の翌日、堺に居た徳川家康は、「伊賀越え」で三河に戻るべく先ずは宇治田原(現・京都府宇治田原町)から甲賀の小川(現・滋賀県甲賀市信楽町)の多羅尾光俊の館に入りました。光俊から多羅尾氏伝来の(源頼朝所縁と伝わる)勝軍地蔵像が贈られ、光俊の息子たちを始めとする甲賀者が(明智光秀所縁の喜多村氏を含む伊賀者と協同して)伊賀越え道中の警護を担うにあたって地蔵像を同道させ、家康たちは無事三河・岡崎に帰還出来たと言われます。その後家康の勝軍地蔵への帰依は弥増すばかり、戦陣に必ず護持して必勝を祈り、祈ったこ



東都芝愛宕山遠望品川海図(昇亭北寿)

とで本当に勝ち戦が続いたそうです。

後年、征夷大將軍となった家康は、「本能寺の変」の21年後、京の愛宕山の勝軍地蔵を勧請した愛宕神社を江戸にも建立し、その別当寺・円福寺に伊賀越えに同道した地蔵像を祀りました。江戸の愛宕神社が建てられた桜田山は、その後「愛宕山」と呼ばれます。円福寺が（京の愛宕山白雲寺と同じく）廃仏毀釈で廃寺になると、勝軍地蔵像は真福寺（@港区愛宕1丁目。江戸城に最も近い寺だったため、お玉ヶ池種痘所開所の年・1858年には外国使節の宿舎になりました。）に移されましたが、関東大震災で焼失してしまいました。今寺庭に立っている地蔵像は、1934年（昭和9年）に再建されたものです。

江戸の愛宕山は、（愛宕山になってからは）信仰の場であると同時にその見晴らしの良さから江戸で有数の名所になりました。今浅草の方が有名な「ほおずき市」や「羽子板市」も、始まりはこちらの愛宕神社です。

ほおずき
鬼灯市 雨あをあをと 通りけり（永方裕子）

1874年（明治7年）に東京府（当時）は、愛宕山の東の麓に東京府病院を開院しました。初代院長は岩佐純、副院長は佐々木東洋、2代目院長は坪井信良です。賢明なる読者諸氏はお気付きかも知れませんが、佐々木東洋はお玉ヶ池種痘所発起人・三宅良斎の娘婿で、同じく発起人の坪井信良は坪井信道の娘婿ですから、「本能寺からお玉ヶ池へ」の流れの一端が、ここ愛宕下にまで流れ流れて来たかのようで

す。東京府民から（地名をとって）「愛宕下病院」とも呼ばれた東京府病院は、開院6年後には慈善病院となりましたが、残念ながらその半年後に閉院されてしまいました（が、今その跡地には東京慈恵会医科大学附属病院が建っています）。

「お玉ヶ池種痘所」に始まった近代日本の医学校は、明治の終わりには（お玉ヶ池種痘所から発展した）東京帝国大学（現・東京大学）医学部を始め12校、大正の終わりには19校に増えてきましたが、西日本に（国公立の学校ばかりで）私立の医学校はありませんでした。1927年（昭和2年）、大阪に開校した「大阪高等医学専門学校（現・大阪医科薬科大学）」が西日本で初の私立医学校です。大阪高等医学専門学校の初代校長・足立文太郎（1865～1945）は、入学時の学長が三宅秀（卒業時には退官）だった東京帝国大学医科大学卒業の解剖学者です。

夏目漱石が「吾輩は猫である」や「坊ちゃん」を発表したのは、俳句雑誌「ホトトギス」でした。「ホトトギス」の同人で岡崎生まれの中村若沙（本名・中村一郎；1894～1978）は、大阪高等医学専門学校出身の外科医です。若沙の句の「地蔵盆」は、旧暦7月24日（現在の近畿地方では月後れの8月24日に行われます。）の地蔵菩薩の縁日のことです。

子が打てば 子の鉦の音 地蔵盆（中村若沙）



真福寺



勝軍地蔵@真福寺

2022年9月の病棟イベント

コロナ禍の影響で、病院の年間レクリエーション行事はかなり制限され続けていますが、徐々に医療が新型コロナウイルスに打ち勝ちつつあるように、当院のレクリエーション委員会も、コロナ禍でも患者様にひと時の楽しみの場を提供したいと徐々に活動を拡げています。9月は昨年につき、病棟レク委員が中心となり、各病棟独自に企画したレクリエーションを、病棟毎に実施しました！ 今回も、患者様と職員と一緒に楽しみ、入院生活の中でホッとできる時間となりました！

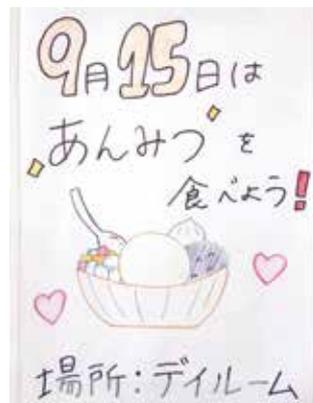


各病棟企画のレクリエーションと、レク委員スタッフの感想



A2「あんみつをつくって食べる会」

患者様からの希望もあり、今回も自分で作って食べる企画にしました。寒天にフルーツやあんこ、黒蜜、ホイップクリーム等を思い思いに盛りつけて楽しみました。たくさんの方が参加してくださり、めずらしい経験ができたと言ってくれました！



A3「かき氷の会」

入院生活ではなかなか食べることができないものを提供できて良かったです。マンゴー、ミックスベリー、あずき、練乳、カラフルな金平糖… トッピングを自由に選べることでより楽しんでもらえたと思います！



A4「ビンゴ大会」

昨年同様コロナ禍での開催となりましたが、参加された皆様は手指消毒やマスク着用も徹底してくださりました。つつい「ビンゴ！！」と大声を出しそうになりますが、手を挙げ、拍手で称えるという方法で一丸となって静かに盛り上がることができました！用意した景品も皆さん喜んでくださいました。



(B1 未実施)

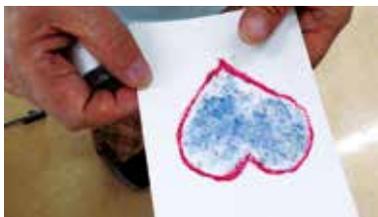
B2「アイスクリームの会」

普段、自分の思いをあまり話さない患者様が、開催を知った日から、アイスを食べることをずっと楽しみにされていました。それを見て、日常生活に変化を感じられるイベントは大事にしたい貴重な時間だと改めて思いました！



B3「ポストカードづくり&アイスクリームの会」

ポストカードづくりとアイスを食べう会の二刀流で臨みました!“芸術”と“食”の少し早い秋を、患者様とスタッフが共に楽しみました!! Let's have fun!!



ほうれん草としめじのおひたし



1人分栄養成分

エネルギー 23kcal
タンパク 2.9g
塩分 0.3g

材 料 (2人分)

ほうれん草…………… 5株(約150g)
ぶなしめじ…………… 1/2袋
かつおだし…………… 小さじ2
しょうゆ…………… 小さじ1
かつおぶし…………… ひとつまみ

作り方

- ① ほうれん草は沸騰したお湯で茹で、水にさらし、水気をよく切って、4cm 幅ぐらいに切る。
- ② ぶなしめじは石づきを切り落とし、沸騰したお湯で30秒ほど茹でて、水気をきって冷ましておく。
- ③ ①のほうれん草と②のぶなしめじをかつおだし、しょうゆで和え、かつおぶしをかけて完成。



《栄養の豆知識～ぶなしめじについて～》

ぶなしめじに含まれる栄養素には、疲労回復(ビタミンB)や便秘解消(食物繊維)、カルシウムの吸収率アップ(ビタミンD)、免疫力強化(β -グルカン)などさまざまな効果が期待できます。その上、低カロリーなので体に嬉しい食材です。

巻頭写真募集



広報委員会では、季節(春・夏・秋・冬)に応じた、じんだいの巻頭写真を募集しています。写真は季節に応じたものであれば、ジャンルは問いません。写真を撮るのが好きな方、提供いただける職員の方は、広報委員会メンバーにお声掛けください。たくさんの応募をお待ちしています。

過去の掲載作品



ウミガメ



院内中庭の花壇(3月)



小岩井農場



盛夏の薄明：三鷹市(井の頭公園通り)



風鈴



満開の桜

外来担当表

● 初診

	月	火	水	木	金	土
第1・3・5週	畑	岡田	森	田澤	鈴木	市川
第2・4週	狩野	西岡	宮原	山室	中村	土井

● 再診

	月	火	水	木	金	土
原藤	院長	原藤	土井	土井	森	森
土井	土井	森	市川	市川	西岡	西岡
市川	市川	西岡	田澤	田澤	森	山室
森	西岡	山室	山室	山室	西岡	狩野
田澤	山室	岡田	岡田	岡田	岡田	亀山
清野	岡田	中村	畑	畑	畑	
		宮原	鈴木	澤井	種田	
		森(栄)				
		南				

受付時間

- 月～金 午前 9時～11時 (初診・再診)
午後 1時～ 3時 (初診)
- 土 午前 9時～11時
午後も入院は受け入れています

当院は「敷地内全面禁煙」です。



調布市深大寺北町 4-17-1

編集後記

秋といえば、皆様はどんな秋をすごしていらっしゃいますか？私のもっぱら「食欲の秋」です。新米、サツマイモ、栗、秋刀魚…誘惑だらけで困ってしまいます。私の実家は米農家なのですが、新米はとにかくおいしいです。シンプルに味噌汁と焼き海苔で食べるのが好きです。

今回の10月号ですが、趣味紹介で写真を取り上げています。スタッフの意外な一面が見られて私もとても楽しく拝見しています。実は私の写真も紹介させていただきました。フィルムカメラといっても様々な個性を持ったカメラがあり、写ルンですのようにシャッターを押すだけできれいな写真がとれるものや、明るさやピントを自分ですべて設定するものもあります。そのカメラの個性に映し手の個性が掛け合わされて完成する写真はとても魅力的です。

次号の趣味紹介もお楽しみに。(つばき)

今年は残暑が長く続き、いつまでも夏服ですごせると思っていたら、急に冷え込んでまいりました。コロナ第7波を乗り越え、徐々に感染対策を緩和しながら過ごせるようになってきました。引き続き感染には気を付けながら、生活に彩りを取り戻していきたいですね。

本号のじんだいは、まさに、コロナ禍の生活に彩りを取り入れるにふさわしく、各病棟でのレクリエーションの様子や病院主催の同期会、職員の趣味紹介ではとっておきの写真を掲載させていただきました。ご協力くださった皆様ありがとうございます。

そして、西岡先生の連載も秋の夜長の読書におすすめの内容となっています。バックナンバーも吉祥寺病院のホームページからご覧いただけます。毎度好評をいただいております西岡先生の連載ですが、遠くは九州からもお問い合わせいただいたことがございます。「じんだい」を通して多くの方と繋がることができるのはうれしいですね。今後ともじんだいをよろしく願います。次号は2月頃に発行予定です。(マチルダ)